

地域密着型金融推進計画（通期実績）

平成 21 年 5 月 29 日

淡陽信用組合

- 平成 17 年 4 月から 21 年 3 月までの地域密着型金融推進計画については、ほぼ計画どおり進めることができました。
引き続きこれらの施策を着実に実行しつつ、中小零細事業者と個人に対する円滑な資金供給や経営相談・支援機能、情報提供機能などの付加価値の高いサービスを提供するとともに、地域金融に対して十分な役割と機能を果たせる金融機関をめざします。
- 地域密着型金融推進計画に基づく個別項目の推進状況表

推 進 項 目	取組み方針・目標及び個別の具体的取組策 （担当部会）	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		平 成 2 0 年 度 通 期 計 画	平 成 2 0 年 度 通 期 実 績 平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月
1. 事業再生・金融の円滑化	（事業再生・金融円滑化部会）		
（1）ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 経営改善支援（ランクアップ）運動	企業の財務内容を改善することで資金調達の安定化を図るため、ランクアップ運動を推進する。 自己査定区分 B～C 先よりランクアップ対象先をピックアップし問題点と改善策を本支店間、企業との間で共有し、進捗管理を行いつつ取組む。	前年度ピックアップ先で未達成の 39 社及び 20 年 3 月末自己査定区分 B～C 先より 20 年度のランクアップ予定先 50 先を選定し、改善策等を本支店間で打ち合わせし、管理表の作成提出を行い方針を徹底する。 3 ヶ月毎に管理表写の提出と具体策の打ち合わせを行いつつ取組む。	ランクアップ予定先 47 先を選定（3 先見直し減）の内、実績は 6 先ランクアップした。
創業・新事業支援	地場産業が低迷する中、地域経済の活性化の為に新規開業や新分野への進出支援が重要。 地区商工会や経営革新支援アドバイザーセンターとも連携しながら、情報収集と資金支援、経営相談に取組む。	商工会、経営革新支援アドバイザーセンター等の情報収集は本支店間の分担にて行い、該当店に還元する。又、日常業務活動の中でも意識した情報収集活動を実行し、融資取引顧客増加に結びつける。 年間創業支援先獲得目標を 30 先、200 百万円として積極取組する。	創業及び新分野進出支援で 16 先 320 百万円の実績となった。
（2）事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法 担保保証に過度に依存しない融資 目利き審査能力の向上 人材育成	外部制度や保証を利用した融資商品や格付を利用した融資も検討中であるが、取引先の実態把握による目利き審査が重要であり、日常の OJT 研修の他集合研修も活用し担保保証に依存しない、財務や返済能力を重視した融資ができる人材の強化を図る。	・ 格付の精緻化と活用の具体化。 月 1 回の融資研修の継続実施。 外部研修の積極導入。	担保、保証に過度に依存しない融資、保証協会の活用による売掛債権を担保とした貸出 23 件 151 百万円実行 目利き能力の向上 ・ 融資実務研修、基礎研修 8 回、実践研修 8 回実施。 融資実務研修延 161 回実施 ・ 保証協会による「保証業務講座」に 37 名参加
（3）地域の情報集積を活用した継続的な地域経済貢献 地域の面的再生	雇用の創造につながる企業進出や不動産活用に対し役所、各種団体と連携し、情報収集と資金支援や経営支援に積極的に参画する。	・ ビジネスマッチング他、地域でのニーズを収集し、本支店間で方針を打ち合わせ参画の可能性を検討する。	ビジネスマッチング 情報 11 件あったが、実績は 0 件

推 進 項 目	取組み方針・目標及び個別の具体的取組策 (担当部会)	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		平 成 2 0 年 度 通 期 計 画	平 成 2 0 年 度 通 期 実 績
2. 経営力の強化	(経営力強化部会)		
(1) 信用リスク管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> 自己査定区分や保証料率ランクとの不一致率を改善する。 格付取組への意識向上の為、格付利用商品への反映、貸出金利への反映、案件審査への反映、自己査定作業への反映等を行い、有効性の理解度を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発、金利反映等具体的施策の計画及び研修。登録率と自己査定との整合率を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 信用格付の登録率は、21年3月末時点で77.3%。信用格付の有効利用については、案件審査では活用しているが、商品開発及び金利反映等は進んでいない。
(2) 市場リスク管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> 金利リスク・信用リスク管理 価格変動リスク管理の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 金利リスク(為替リスク含む)...統合VaR, 評価損益、ストレステスト(市場金利の変化時)。 信用リスク管理の強化...評価損益、格付け。 価格変動リスクの強化...評価損益。 	<ul style="list-style-type: none"> 金利リスク...統合VaRによりストレス・テスト2回実施並びに10月から足元シミュレーションを随時実施 信用リスク...評価損益、格付会社の格付、ロスカット基準に基づく協議毎月実施 価格変動リスク...評価損益を毎月実施
(3) 法令等遵守(コンプライアンス)態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> 営業店に対する法令等遵守状況の点検強化 金融商品取引、本人確認業務、反社会的勢力への対応等について、法令等諸規定に基づき適切な管理・取扱を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 法令等遵守について役職員への各種研修会を実施。 法令等遵守状況の点検と検証を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス担当者研修実施(5/13、11/13) 役職員研修実施(6/21、2/21) 外部講師による保険窓販コンプライアンス研修実施(7/12、2/21) 本部によるコンプライアンス臨店を実施して法令等遵守状況の点検と検証を行った(9月~10月)

推 進 項 目	取組み方針・目標及び個別の具体的取組策 (担当部会)	推 進 ス ケ ジ ュ ー ル & 結 果	
		平 成 2 0 年 度 通 期 計 画	平 成 2 0 年 度 通 期 実 績
3. 地域の利用者の利便性向上	(利便性向上部会)		
(1) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「近い」「早い」「親切」をモットーに夢あるくらしのパートナーとして努力するとの当信用組合の観念を取組方針とする。 ・顧客からの相談・要望・情報に対し、より質の高いサービスを提供、利用者の利便性の向上を図り経営基盤の拡充を図る。 ・「ご相談窓口(営業店)」「お客様相談室(本部)」の連携を図り、本支店一体となってサービス提供に取組む。 ・経営情報の提供として「デイリー経済情報」「年金世代の健康と暮らしの情報」「いきいきライフを応援する情報」の活用と「講演会」を開催する。 ・しんくみ生活総合センターの「ビジネスマッチング」「中小企業向け経営診断」等「あのねット」を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1～3回の利用者満足度アンケート調査の結果を踏まえ適宜改善を図る。 ・第4回利用者満足度アンケート調査検討・実施。 ・利用者の声の把握・検証。 ・「経済講演会」「CS・マナー研修会」実施。 ・融資渉外スキルアップ研修会実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度アンケート調査結果を踏まえATM機を20年8月20日に増設(下加茂支店)及び稼働日時を20年9月1日より延長(シティオ出張所)実施した。 ・第4回利用者満足度アンケート調査項目の検討及び下期調査実施を決定。 ・経済講演会を実施(20年11月27日) ・第4回利用者満足度アンケート調査を実施(21年1月15日) ・CS.マナー研修会を実施(21年2月4日)
(2) 地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対して情報提供の充実を図り、より理解し易い情報開示と公表に取り組む。 ・地域に密着した信用組合の特性を発揮し地域社会の発展に貢献している内容等を情報開示し地域の理解を得ていく。 ・地域の中小零細事業者や生活者に対して円滑な資金供給と金融サービスを提供していくと共に地域サービスの充実や文化的、社会的貢献活動も含めた地域貢献活動について広報紙、ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌、ホームページ等を通して充実した分かりやすい情報開示に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(淡陽ニュース)発行。 ・ディスクロージャー誌発行。 ・「献血運動」の実施。 ・「ピーターパンカード寄付金」贈呈。 ・地域貢献活動、情報開示について検証、見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙(淡陽ニュース)毎月発行 ・ディスクロージャー誌発行(20年7月25日) ・「献血運動」の実施(9月3日しんくみの日他) ・「ピーターパンカード寄付金」贈呈(9月17日洲本市立青少年センター) ・ミニディスクロージャー誌発行(20年11月20日) ・「地域密着型金融」の推進計画及び進捗状況をホームページで公表(21年1月5日) ・第4回利用者満足度アンケート結果をホームページで公表(21年3月30日)

<p>(3) I T 戦略の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットバンキングやA T M機の内容の充実を図る。 ・「あのねット」の一層の活用推進。 ・ホームページの充実を図る。 ・しんくみW e b 受付システムの導入。 ・インターネットバンキングやA T M機の機能の充実。 ・「あのねット」によるビジネスマッチング等の企業向けシステムの再構築と活用強化の取組。 ・しんくみW e b 受付システムの構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あのねット」の活用、機能の改善取組。 ・ホームページの掲載内容の検討。 ・しんくみW e b 受付システムの導入検討・取扱い開始。 ・インターネットバンキング、A T M機の機能充実検討・取組。 ・情報等の収集により一層の機能強化と利用者の増強促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あのねット」の地球温暖化対策(エコ・シミュレーション)の取扱開始した。 ・A T M機による積金通帳の後日記帳やお取引明細票の印字内容の変更等の機能充実を図った。 ・しんくみw e b 受付システムの取扱いを開始した。(20年10月1日) ・ゆうちょ銀行口座への振込及び当組合口座への振込等を可能にした。(21年1月5日) ・休日におけるカードでの入金取引の取扱いを開始した。(21年3月28日)
<p>(4) 顧客保護等管理態勢の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客への説明の徹底・顧客サポート態勢の強化・優越的地位を利用した取引防止に本部・支店が一体となって取組、的確に対応する。 ・顧客への説明、相談・苦情・意見・要望へのサポート態勢、優越的地位を利用した取引防止等職員への周知徹底及び検証態勢の確立を図る。 ・顧客からの相談・苦情・意見・要望について支店から本部への報告を徹底一元管理により内容把握、分析、改善等の強化を図る。 ・「ご相談窓口」と「お客様相談窓口」との連携を図り本支一体となって取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客サポート態勢及び取引等の適切性確保について周知徹底及び実効性確保に向けた取組状況の検証・サポート態勢の処理機能の充実を図る。 ・前年度の取組実施を検証のうえ取組評価を把握し改善を図る。 ・経営会議への報告(苦情内容分析、結果、改善策)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客保護等管理態勢の整備・確立に向けた管理方針及び規程の策定にあたり、内容についてリーガル・チェックを行い、制定を決定した。 ・顧客サポート態勢における相談・苦情等の報告漏れの検証や支店長会等により実効性確保に向けた取組状況について指示・徹底を図った。(20年8月4日) ・中小企業に対する円滑な資金供給についての徹底を図った。(20年11月17日) ・コンプライアンス担当者の研修会を実施。(20年11月13日) ・ATM 機に「振り込め詐欺」防止に関する注意喚起文言を追加及び店外ATM による振込み機能を停止した。(20年11月26日) ・融資案件謝絶受付記録簿及び記録表を制定した。(20年12月12日)